

停電時の注意事項について

通電火災とは、通電火災を防ぐには

災害により停電が発生すると、停電後に思わぬ火災が発生する可能性があります。消防では停電後に発生しやすい火災について注意を呼びかけています。

通電火災とは、電力の復旧に伴って破損した配線や壊れた電気器具、停電前まで使っていてスイッチがオンになったままの電熱製品が出火して引き起こされる火災の事です。そのため、通電火災は復旧火災と呼ばれることがあります。

通電火災を防ぐために必要なこと

停電中の自宅を離れる際にはブレーカーを落とし、急な電力復旧に注意する。

建物が損壊している場合や配線の切断が見込まれる場合などは安全を確認後に電力を復旧させる。

破損した電化製品等にコンセントが接続されていないか確認し、接続されている場合は、コンセントを抜くこと。

給電が開始される前に白熱灯、電気スタンドやオーブントースターなどの電熱製品の付近にカーテンや食べ物などの可燃物がないか確認する。

タイマー機能などを設定している電熱製品がある場合は、給電直後ではなく時間が経過してから作動する場合や設定しているいつもの時刻とは異なる時刻に作動する場合などがあるため注意する。